

自給飼料増産！冷涼な根釧地域での とうもろこし安定栽培技術

根釧地域は、飼料用とうもろこしに病害や倒伏が発生しやすい地域です。
自給飼料増産に向け、草地酪農地帯でのとうもろこしの作付を、より安定的にする技術が求められています。



根腐病



すす紋病

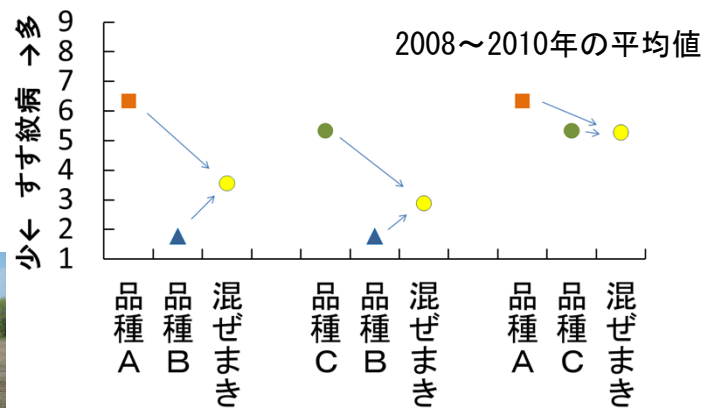


台風による倒伏

病害や倒伏に、「絶対に強い」という品種は、ありません。**複数の品種を選んでまくべきです。**



畦ごとに品種を変えてまく



畦ごとに品種を変えても(混ぜまき)、病害が連鎖的に増えることはありません。倒伏も同様でした。

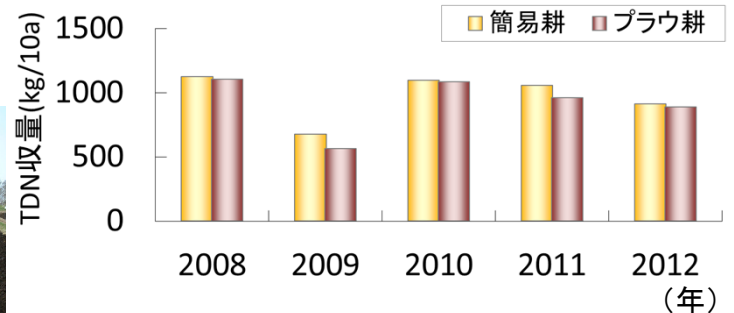
省力・低コストな**簡易耕栽培**は、一般的なプラウ耕起栽培の代わりに使えます。



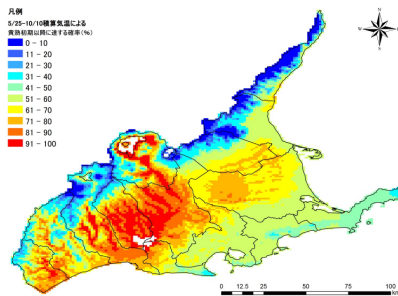
簡易耕作業(表層かくはん)



プラウ耕起作業(天地返し)



簡易耕栽培はプラウ耕起栽培と比べ、5年目でも収量性は変わりません。



極早生品種が黄熟初期以降に達する確率マップ(播種5/25～収穫10/10とした例)

まとめ

1. なるべく早生の品種を使いましょう。
2. 複数の品種を使いましょう。
3. 簡易耕栽培を上手に使いましょう。
4. 栽植密度は8,000本/10aが基本です。